

02月12日(取次搬入)発売予定！

遠藤 知巳 著

情念・感情・顔

「コミュニケーション」のメタヒストリー

思考の外部に触れる！

近代社会の全体を外から俯瞰する視線がリアリティを喪失しつつある現在、主体の内部作用という薄明の言説領域に足を踏み入れながら、異世界性に触れようとする思考の冒険！

ミシェル・フーコーの『言葉と物』を凌ぐ近代社会を巡る言説分析。

遠藤 知巳 (えんどう ともみ)

1965年大阪生まれ、1987年東京大学文学部社会学科卒業、東京大学大学院博士課程(社会学)単位取得退学。現在、日本女子大学人間社会学部教授。社会学(近代社会論、言説分析、メディア論、社会理論)。

編著：『フラット・カルチャー』(せりか書房、2010年)

共著：『ミハイル・バフチンの時空』(せりか書房、1997年)、『イメージのなかの社会』(東京大学出版会、1998年)

『言説分析の可能性』(東信堂、2006年)など。

訳書：ジョナサン・クレーリー『観察者の系譜』(以文社、2005年)。

【目次】

序	〈近代〉の深さへ		
第1章	情念の体制	第10章	感情の体制—感覚・反省・語り
第2章	社交の起源	第11章	慈愛心と自己愛
第3章	修辞学と情念 一五三〇～一六〇〇	第12章	美・道徳・感情
第4章	情念論の形成	第13章	表象と「コミュニケーション」—美・道徳・感情(2)
第5章	過剰と秩序 — 一七世紀の問題構制	第14章	感覚のジャンル化、共感のスペクタクル —美・道徳・感情(3)
第6章	二世界性	第15章	観相学の地平
第7章	自体的記号の理論 — 「キャラクター」の地平(1)	第16章	映像と超-内面
第8章	記号・修辞・意図 — 「キャラクター」の地平(2)		
第9章	個性性の転形 — 「キャラクターの地平」(3)		

関連既刊書：『無為の共同体』『ホモ・サケル』『過去の声』

A5判 上製カバー装 768頁 本体価格：7,800円 (定価：8,424円)

希望陳列コーナー：現代思想・社会科学概論・言説分析(フーコーの書籍の周辺)

以文社 ISBN 978-4-7531-0330-0 C3010 本体価格：7,800円 (定価：8,424円)		
帳合・番線	ご希望冊数	書名
		情念・感情・顔 「コミュニケーション」のメタヒストリー 遠藤 知巳 著

※指定配本の都合上02月03日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。